

トランペット アドバイザー



林 美智子

栃木県日光市出身 12歳よりトランペットを始める

栃木県立今市高等学校 卒業

宇都宮短期大学音楽科管楽器専攻コース 卒業

同研究科2年課程 修了

第7回大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門 入選

第2回横浜国際音楽コンクールアンサンブル部門 第2位(1位なし)

これまでに、トランペットを長倉穰司氏に師事

卒業後は藤井完、池邊純、両氏の元で研鑽を重ね、2018年には台湾トランペットキャンプに参加し、陳長伯、Loo Kit Chong.、両氏に演奏法を学ぶ。

MCF オーケストラとちぎのトランペット奏者として、マロニエール・クラシック・フェスティバルコンサート

Vol.1～5、MCF キッズコンサート Vol.1～4 に参加。その他、ワグナー・ナンドール アートギャラリー春季展、ワグナー・ナンドール没後20年記念展 五角堂コンサート、小山市立文化センター主催「親子でたのしむ こどもクリスマスコンサート」、中禅寺湖畔国際避暑地記念施設 秋の音楽会、宇都宮第九合唱団 特別演奏会、県内各地での学校音楽教室など、多数出演。真岡市クラシック音楽鑑賞教室「トランペットの仲間たち ～いろいろな楽器・いろいろな音色～」では演奏のほか講師を務める。

また、ポップスのジャンルでも活動しており、Cross-sounds Trio のメンバーとして「Cross-sounds Trio スペシャルコンサート ～Our favorite music!～」等に参加。

宇都宮短期大学音楽科在学中より後進の指導にあたり、スクールバンドを第20回うつのみやジュニア芸術祭芸術祭賞(最高位)、吹奏楽連盟アンサンブルコンテスト上位大会に導いているほか、2002年より開催されている「うつのみや地区ジョイントコンサート ～響かせよう! みんなのまちへ～」に第1回～18回まで企画、運営、指導者として携わり、地域に根差した活動を行っている。

Cross-sounds Trio メンバー MCF オーケストラとちぎ トランペット奏者。

宇都宮短期大学音楽科・同附属高等学校音楽科講師。

1. 準備が大切

ホールで演奏する時と練習室で演奏(練習)する時とで、奏法が大きく変わることはあるのでしょうか？答えはNOです。

たった一人で練習室で演奏する時も、お客様に聴いて頂くことで曲は完成するということを忘れずに、日頃からどんな風に聴こえているか自分の耳を使って練習できるといいですね。

2. どんな準備をすればいいの？イメージ編

- ① 実際に演奏するホールのホームページなどを見てください。
客席の数や座席の色、ホール全体の広さやステージの広さなどがわかっていると、練習の時にイメージしやすくなります。
写真をプリントアウトしておいて見ながら練習するのもいいですね。
- ② 時々は少しでも響きのある、広い教室で練習しておくことも大切です。

3. どんな準備をすればいいの？練習編

- ① 例えば基礎練習の時も、「ロングトーンを練習する」ではなく、「ロングトーンを演奏する」という風に頭の中の言葉を変えるだけでも音色が良くなります。
また、よく響くホールで演奏すると、音が良く伸びるので長い音の処理がいい加減になりがちです。最後までしっかり伸ばすように意識しましょう。
- ② オーケストラや吹奏楽の場合、トランペット奏者はステージ後方に座ることがあります。そのため、みんなとタイミングを合わせられるよう、発音の練習は欠かせません。ソロでは、より表情豊かに音楽を伝えられるように、アクセントやスタッカート、テヌートなど様々なアーティキュレーションで練習しておきましょう。
- ③ 指の動きも大切です。指の動きがゆっくりだと、音の移り変わりが曖昧になってしまいます。特にゆったりとしたフレーズをスラーで演奏する時は要注意です。指はしっかりとしっかり動かしましょう。

4. こんなことにも気を付けよう

- ① 実際に本番で演奏する時の衣装で演奏してみましょう。
楽器は楽に構えられますか？腹式呼吸はしやすいでしょうか？
実際の靴を履いて、歩く練習をしておくのも良いと思います。
ヒールの高い靴を履くときは、ヒールが太い物を使用すると身体が
支えやすくなりますよ。

- ② 水抜き(つば抜き)の時、息を強く吹き込むと
上手く水が抜けない
ばかりか、音楽の邪魔になってしまう時があ
ります。演奏前に入念に水抜きをし、演奏の
途中では弱い息をそっと吹き込んで水抜きを
しましょう。また、水抜き用のハンカチなどは、
演奏の雰囲気を変えない色味の物を選ぶと
良いと思います。反対に楽しいイベントのス
テージでは、ステージを飾り付けするつもりで
カラフルな物を使っても楽しいですね。



5. いざ、ホールへ！

自分の音が大きすぎないか小さすぎないか、気になったことはありませんか？

① 大きい場合

自分の音ばかり聴いてしまっているかもしれません。

自分の音は曲の一部ですから、自分の音を含めた全体の音、空間に響いている音に耳を傾けましょう。

② 小さい場合

大きな音で吹くぞ！音を遠くへ飛ばすぞ！と思うとかえって身体が固くなり、音色も固く汚くなってしまいます。まずは自分の音が自分の足の裏を伝ってステージへ音が響き、ホール全体の空間が音で満ち溢れるようイメージしてみましょう。

③ 譜面台の位置

座って演奏する場合は、正面に置いて譜めくりができる距離まで離して置きましょう。譜面台に楽器のベルを近づけて音を小さくしたり、譜面台の上からベルを出して音を大きくしたり、音量調節に使うこともできます。

6. おわりに

ホールで演奏する時は、いつもと違った環境に緊張してしまうことがあるかもしれません。

でも、高い音を外したらどうしよう？もし失敗したらどうしよう？と縮こまってしまっは、もったいないです。

どんな演奏会でも、何度も演奏したことのある曲でも、その演奏は演奏者にとってもお客様にとっても、一生に一度の演奏になります。

一生に一度しかない貴重な経験として、これまで努力をしてきた自分を信じ、勇気を出して表現してみましょう！